

防災目寄り情報

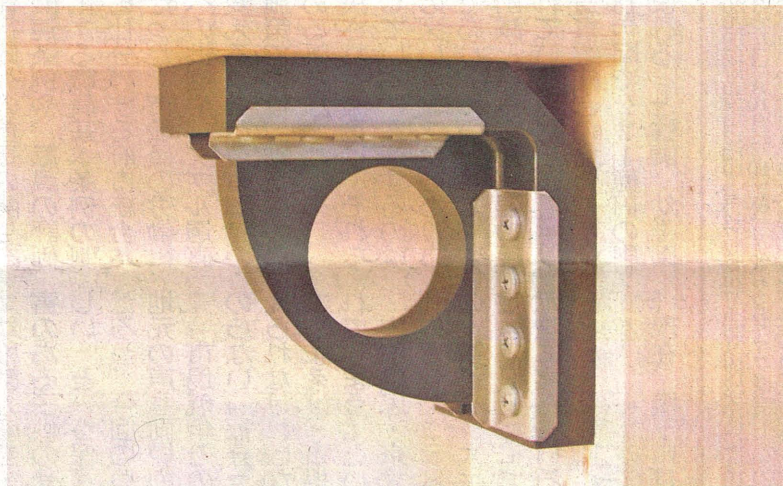
耐震リングで木造強化

阪神大震災の経験から開発された耐震リング

阪神大震災で多くの木造家屋が倒壊したが、その原因のひとつに、梁と柱のつなぎ目部分「仕口」の変形があった。ここに粘りと復元力のあるダンパーを取り付けると、家屋の倒壊を防ぐことができる。

阪神大震災の経験から開発されたのが「耐震リング」。合成樹脂で重さは650gと軽量。開発した日本建築構造技術者協会会員の極原健一氏—大阪市—は「火災にあわない限り、半永久に耐久性があり、再利用も可能」。これまで前モデルも含め約10万個を全国で設置。住宅はもとより寺院、文化財も多いという。一般的な木造家屋では、一坪（約3.3平方m）あたり1個の割合で設置すれば震度7に耐えうる。

その場合、平均的には1個約2万円で工費など含め200



- 半永久的に使い再利用も
- 一坪1個で震度7耐える
- 補助金適用で工費半額に

万円までのケースが多い。公費と100万円程度になるとい
費による補助金が適用されるう。